

平成28年度

議会報告会報告書



桜井市議会

はじめに

桜井市議会は、「桜井市議会基本条例」に基づき、市民の皆様に議会活動を知っていただくため「議会報告会」を開催させていただきました。

第1部では、平成28年第3回（9月）定例会に提出されました議案等の審議状況と議会改革について、報告させていただきました。議会からの報告の後、ご参加いただきました方から、審議内容や議会全般にかかる質疑応答や意見交換をさせていただきました。

続いて、第2部では、予め設定した2つのテーマで、所管する常任委員会から本市の現状と施策について説明した後、会場の皆さまと意見交換をさせていただきました。

当日、皆さまからいただきました貴重なご意見等を踏まえ、今後の議会運営や報告会の運営に当たってまいります。

なお、アンケートでは、「まあまあ良かった」も含め、半数の方に、「良かった」という評価をいただきました。特に、テーマを設定して意見交換を行ったことは評価をいただいています。

また、今後の議会報告会への参加については、「日程があえば参加する」を含めると7割近い方が「参加する」とお答えいただいております。今後の開催については、一人でも多くの方に参加いただけるよう、そして継続して参加していただけるように努めてまいります。

市議会といたしましては、一層の議会改革に取り組むと共に、積極的な情報提供を行い、市民の皆様に開かれた議会運営を推進してまいります。

☆ 議会報告会の次第

実施日時 平成28年11月19日（土曜日）

午後2時から

実施場所 桜井市役所 大会議室 （2階）

開会のあいさつ

◎ 第一部 議会報告

I 桜井市議会の概要

II 9月定例会に提出された議案等について

1 総務委員会の審議

2 文教厚生委員会の審議

3 産業建設委員会の審議

2 決算特別委員会の審議

III 議会改革の取組みについて

IV 質疑応答

◎ 第二部 意見交換

I 防災について

II 子育てについて

閉会のあいさつ

☆第1部 議会報告に対する質疑応答の要旨

要望：「桜井市子ども一時預かり事業の実施に関する条例」が制定され、平成29年1月から事業が実施される。議会としては、桜井市の子育て世代の意見、実情を十分把握して、事業と子育て世代の実情の齟齬をしっかりとチェックして、子育て世代はどのようなことを望んでいるのか、どのようなことを充実してほしいのか、市民が子育てをしやすいように、事業の検証をお願いする。一年後こういう場で聞かせていただくことを望む。



答：まだまだ不十分ではあると思うが、8月にオープンした保健福祉センター「陽だまり」を中心に、これからしっかりとやっていきたい。

問：決算審議の資料にある敬老記念品についてであるが、品物をもろうより桜井市内で使える地域振興券のようなものでいただけると、地元で買い物ができるので地域も潤う。検討していただきたい。

答：地域振興券は一考する価値があると思うので、検討して市のほうへ要望としてあげていきたい。

問：議案の議決結果をみると全員賛成がほとんどである。活発な議論をされていると思うが、どのような雰囲気か。

また、政務活動費については、資料を全て公開されているのか。

答：議会は本会議と委員会で、理事者側と議論を交わしている。政務活動費については、総額をホームページで公開しているが、個人の使途については情報公開を通じて閲覧をしていただける。

問：災害避難者用の備蓄食料については8000食となっているが、6万人の人口で避難者にいきわたるのか心配するがどうか。

答：一週間程度の備蓄と考えているが、業者とも協定を結んでいることから供給してもらえると考えている。

要望：本会議を何回か傍聴もし、録画配信も見たが文章を読み上げるだけで、自分の言葉で語られてないように思う。もっと活発な議論を望む。

☆第2部 意見交換の要旨

I 「防災」について



問：避難所でのトイレ対策について聞きたい。また、防災に関して女性の意見をどのように聞き取っているのか。

答：簡易トイレは2台を備蓄している。それ以外には組み立て式簡易トイレを備蓄している。女性の意見に

ついては、防災会議に女性委員に参画していただいて、意見を反映させている。

問：自分たちの地区は自分たちで守るということでやってはいるが、行政と各地区との連絡体制は（例えば防災無線）どうなっているのか。また、どのように考えているのか。これは緊急の課題である。

答：現在、小学校区を中心に15箇所防災無線が整備されている。各地区に防災無線を設置することは困難であるので、防災無線が設置されている施設を拠点に各地区との連絡をとっていただきたい。災害時の情報



報伝達手段の確保は重要課題であると認識はしている。このことについては、問題意識をもって当たっていきたい。

問：私たちの地区は、日ごろから防災訓練をして自分の身は自分で守るという意識をもっている。平成27年3月に桜井市の防災訓練が朝倉地区で開催されたが、その後、開催されたようには思えない。訓練は継続することが大事である。是非、継続的に開催していただくように働きかけていただきたい。

答：いただいた意見は、市の方へ伝えさせていただく。

要望：昨今、地震が頻発している。消防団11分団に、消防車を配備していただいているが、消防機庫等の耐震化がされていない。有事

の際に、消防自動車が車庫から出せないという事態も考えられる。
出来るだけ早く耐震化を望む。

問：市が指定している避難所の収容人数では、人数的に収容できないと思われる。そこで、自主防災会で一次避難場所等の検討をしているが、なかなか話が進まない。自主防災会と区の連携、各種団体との連携が弱いように思われるが、市として何か支援していただくことはできないか。また、各自主防災会相互の意見交換や情報交換ができる場を設定していただきたい。

答：各地域との連携については、担当課である危機管理課に伝えていきたい。

問：消防団が年末警戒にあたっているが、スピーカーを使つての巡回が騒音の問題から難しい。事前に市民に伝えてトラブルのないようにお願いしたい。

答：年末警戒については、市の広報等を通じて市民の方に伝えられる体制をとっていけるよう、市の方へ申し出る。

問：鳥取県倉吉市では、防災計画において検討事項としてきたことは、実際の災害発生時には運用できなかった。自助、共助、公助、その順番でシステムを作っていただきたい。地震は待ったなしである。何故、進捗が遅いのか、お尋ねしたい。

答：おっしゃるとおり待ったなしの状況であることから、ご意見については、心して取り組んでいきたい。

要望：消防団の分団や部の機材の整備が遅れている。早急に対応していただきたい。

問：自主防災会の補助金は、結成から5年間いただいていたが、期限が過ぎ補助金がなくなると、機器の修理や更新に苦慮している。何とかならないか。

答：補助金については、5年間ということで支出させていただいている。市としては現行のままの運用でお願いしたい。

Ⅱ 「子育て」について

問：私立幼稚園就園奨励補助金の額が、国基準より少ないように聞くがどうなのか。また、奈良県知事はある会合で幼児教育の重要性をお話されていたが、桜井市の考え方はどうなのか。

答：私立幼稚園就園奨励補助金については、確認して回答させていただく。幼児教育の重要性については、私たちもよく認識している。

問：新たにオープンした保健福祉センター「陽だまり」には案内板があるのか。センター案内図をわかりやすいところに設置していただきたい。

答：玄関入って右側に設置されている。おっしゃるとおりわかりにくいところに設置されている。担当課に申し入れる。

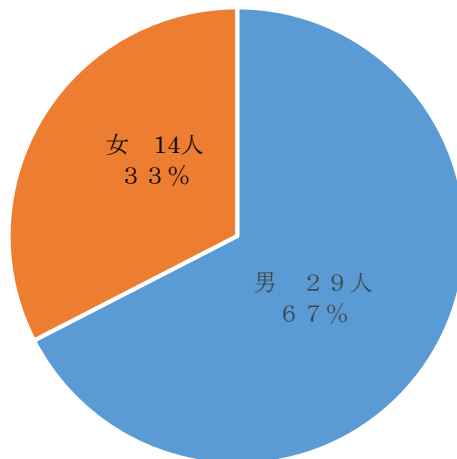


☆アンケートの結果

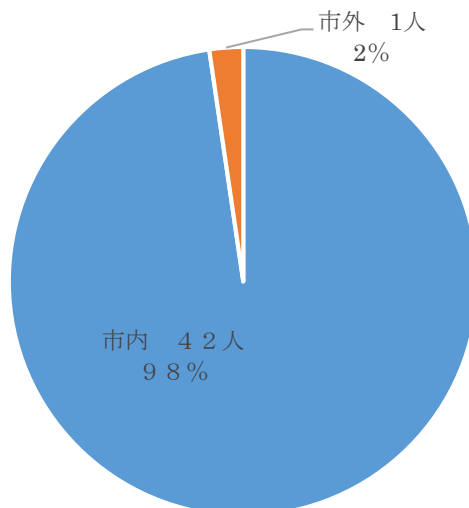
48名の参加者のうち、43名の方にアンケートにご協力をいただきました。ありがとうございました。

参加者	男性	34名	女性	14名	計	48名
回答者	男性	29名	女性	14名		
	計	43名				
回答率		89.6%				

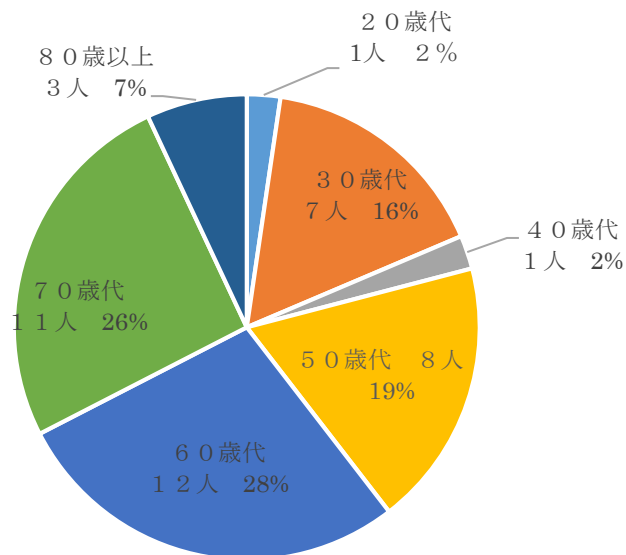
性別



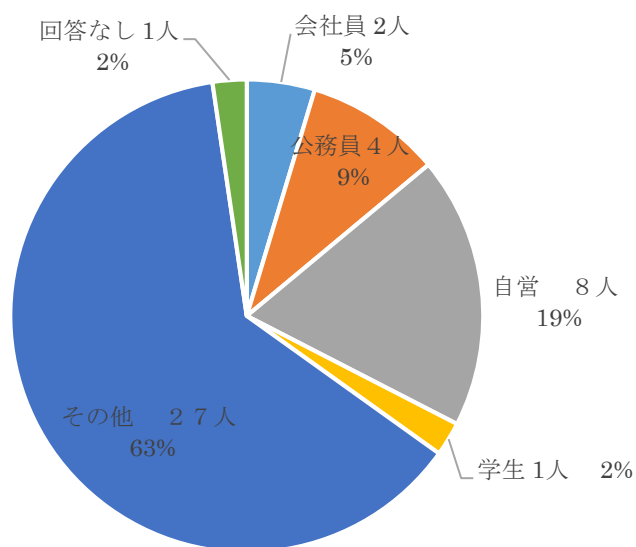
居住地別



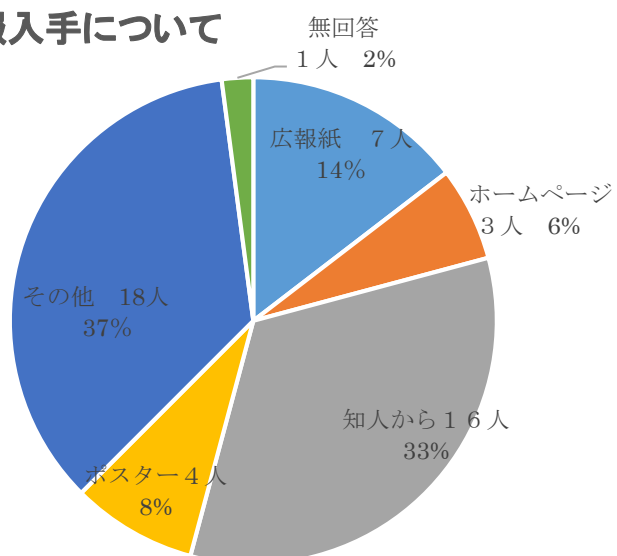
年齢構成



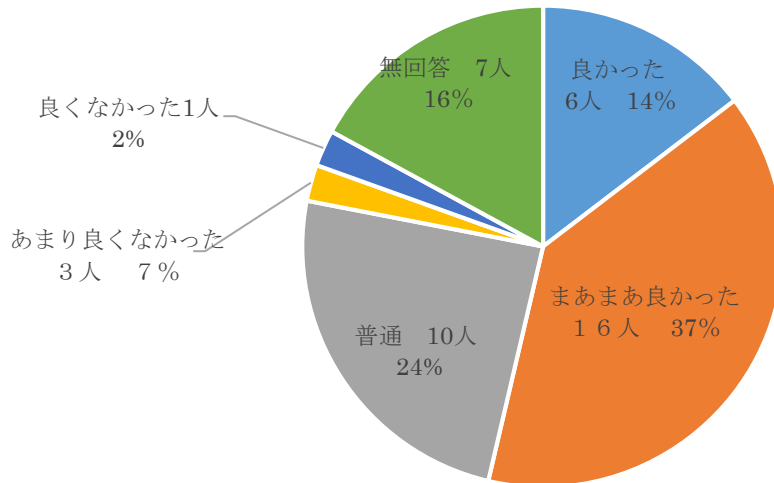
職業別



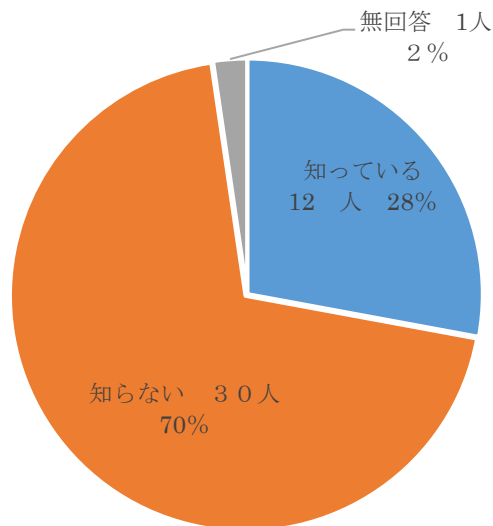
報告会の情報入手について



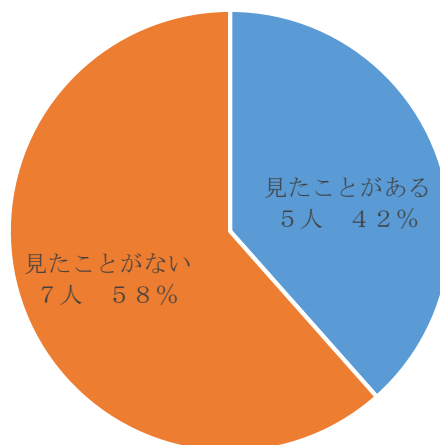
感想



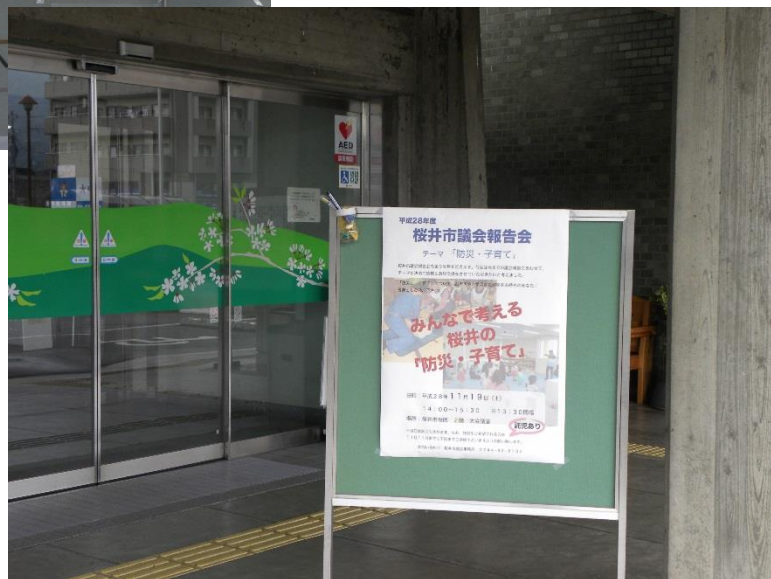
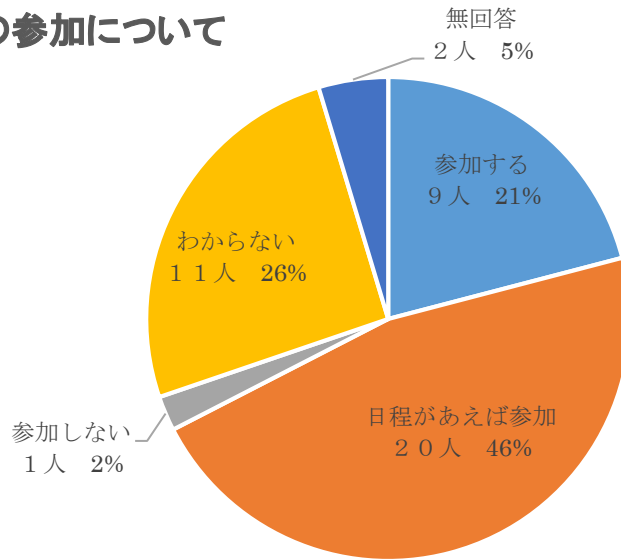
本会議録画配信の認知度



本会議録画配信の視聴状況



今後の参加について



今後取り上げるテーマについて

- ・ 認知症や介護について
 - ・ 桜井市の学校教育について（児童・生徒の実態等）
 - ・ 防災を続けてテーマとしてほしい
 - ・ 高齢者に対する種々の課題（特に運転免許返納制度の検討など）
 - ・ 観光行政についての考え方
 - ・ 桜井市全体の将来ビジョン。産業、観光、地域開発など「住みたいまちづくり」の計画を知りたい。
 - ・ 防災は重要なテーマであり、市の取り組み状況の説明や団体間の意見交換も含めて検討してほしい。
 - ・ 児童福祉の現状や将来展望について
 - ・ 安全な給食や残食のない給食について
 - ・ 幼児教育、子育ての充実
 - ・ 災害時の避難所における医師・看護師の配置について
 - ・ 地域づくり、自助・共助・公助、桜井の将来展望
 - ・ 人口減、教育、観光の産業化
 - ・ オリンピックその他外国人のおもてなし
- 5つの協定の進捗状況

アンケートのご意見等

- ・意見交換の時間配分が少し短く、子育てについて発言しにくい雰囲気だったので残念でした。
- ・子育てについての桜井市の取り組みについては満足しています。今後も子育てのしやすい、市であってほしいと願っています。
- ・防災について熱心に考えている市民の方がたくさんおられ、市民として心強かった。具体的な意見が多く、いつ起こるかわからない災害について真剣に取り組む市民に伝えていただきたいと思いました。議員の熱心な姿にもこれからの桜井市を安心してお任せできると感じました。お疲れさまでした。
- ・桜井市の私立幼稚園に息子が通っています。他の市と比べて私立幼稚園就園奨励費が少ないのは何故か。奈良私立幼稚園振興大会に出席したことがあるんですが、荒井知事は幼児期における幼児教育の大切さを重視しています。桜井市はどうでしょうか。ただちに重視していただきたいです。
- ・私立幼稚園就園奨励費の増額を希望する。国から推奨されてる額には満ちていない。検討していただきたい。
- ・防災についての切実な意見が出ていたと思う。
- ・継続改善して進捗してください。多世代が参加できるよう改善（18歳、20代）の参加。若年層の参画。出来るシステム（見せ方）広報の仕方等。

- ・ 各議員一人ひとり、月ごとに市民に活動報告を出してほしい。(16人の議員が毎月何をしているのかわからない。)
- ・ 主催者の資料が少ない。口頭での説明では不十分(特に子育て)
- ・ 2つのテーマを同時にすることは参加者が分散する。
- ・ 議会の審議報告は資料で理解できるので、市民との質疑応答の時間をもう少し長くしてほしい。細かい点も取り上げてもらい、市としての意見を教えてほしい。
- ・ 各部たとえば補助金等を交付されている団体のイベントに議員も参加して市民活動を広く見つめ「まちおこし」をしてほしい。選挙公約したことをどれだけ実行しているか市民に知らせるべきである。
- ・ 計画的なボランティア制度の検討(金のかからない方法)特に用水路へのポイ捨てごみの回収をする。ボランティア袋(分別して)レジ袋も利用できる方法などはできないか。
- ・ テーマを設けた今回の方法は大変良かったと思う。議員と市民が一堂に顔を合わせる場は必要。今後も継続してほしい。
- ・ とても参考になりました。いろんな意見を聞き熱心に考えておられる方が多いと実感しました。

* アンケートへのご記入、ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見を、今後の議会活動や議会運営の参考とさせていただきます。

☆アンケート集計 (参考)

1 性別								
男	29							
女	14							
2 住所								
市内	42							
市外	1							
3 年齢		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
	43	1	7	1	8	12	11	3
4 職業								
会社員	2				1	1		
公務員	4		1		3			
自営業	8				2	3	2	1
学生	1		1					
その他	27	1	5	1	2	8	8	2
回答なし	1						1	
5 知り得た方法 (複数回答可)								
広報「わかざくら」	7				1	2	2	2
市ホームページ	3				1	1	1	
知人から	16		4	1	2	4	5	
ポスター	4				2		1	1
その他	18	1	5		4	4	3	1
回答なし	1					1		
6 感想								
良かった	6				1	1	3	1
まあまあ良かった	16		4	1	3	4	3	1
普通	10		2		2	3	2	1
あまり良くなかった	3					1	2	
良くなかった	1						1	
回答なし	7	1	1		2	3		
7 インターネットによる 議会中継について								
知っている	12				6	1	4	1
知らない	30	1	7	1	2	10	7	2
回答なし	1					1		
8 議会中継を								
見たことがある	5				3		1	1
見たことがない	7				3	1	3	

年齢		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
9 今後の参加								
参加する	9				3	2	2	2
日程があえば 参加する	20		2	1	3	5	8	1
参加しない	1				1			
分からない	11	1	5		1	3	1	
回答なし	2					2		